

片手でのキーボードの利用の問題点について

200712017 川上 茂浩

過去の卒業研究で一時的な片手キーボードの利用に関する研究があった。これは、UNIX 上の X Window System の xmodmap という仕組みを使い、キーボードの配置を変え、どのようにしてキーボードを片手で扱えるように変更するのか、そしてそれを実際にキーボードに割り当て、実験し考察した研究である。

しかし、この研究にはいくつか問題点が残されていた。それは、記号を全く考慮していないかったこと、BackSpace キーを押し続けることによる削除が不可能で、一文字毎に削除しなければならなかったことである。

今回は 2 つの問題の解決を目指すとともに、過去の研究を改良したキー配列、さらに全く新しいキー配列を提案し、過去の研究で考察された配列と比較するための実験を行なった。